

## 古都は素晴らしかった！感動あふれる修学旅行！

## 世界遺産の奈良と京都を たっぷり味わってききました！



- ### 三日間の行程
- 一日目  
東京～京都…東大寺大仏殿・奈良公園…薬師寺…法隆寺…京都・宿舎「花かんざし」・「扇子絵付け」
  - 二日目  
全日、京都市内班行動  
チェックP・金閣寺、銀閣寺、二条城、東寺  
夜、宿舎で「扇子絵付け」
  - 三日目  
タクシー行動…京都駅～東京へ

○一日目  
東京駅丸の内南口地下広場に一つの班も遅れることなく集合。快適な新幹線に乗り、十一時、京都到着。バスで一路、奈良公園へ。鹿と一緒にクラス写真。そのあと東大寺見学。大仏様の大きさにみんなびびり。奈良公園では、せんべい食べたさにお辞儀をする鹿に感心。奈良公園を後にして薬師寺へ。お坊さんの話に笑いながらも「全ての体験は『限定』なのです、ここにいること、感じることは、ここではないのです。その意味をしつかり…」含蓄のある説法を拝聴しました。国宝の東塔は、改修修理のためテントで覆われていました。残念！薬師寺を後にして、いよいよ一日目の最後の見学地法隆寺へ。境内で記念撮影

後、現存する世界最古の木造建築の金堂や五重塔に感嘆、祈るといい夢に変えてくれるという夢違観音、優美な姿の百済観音、玉虫厨子などの国宝に見とれました。法隆寺を後にしてバスで一路、京都へ。夕方六時、京都情緒あふれる「花かんざし」に到着。夜は、京都情緒あふれる部屋でみんなのんびり過ごしました。

○二日目  
六時十五分起床。少々起床が早かった班もいくつか。朝食後、班行動スタート。チェックポイントには、金閣寺、銀閣寺、二条城、東寺。天気にも恵まれ、自分たちで考えたコースをしつかり回りました。宿舎に着く前に近くにある錦市場をいくつかの班が見

後、現存する世界最古の木造建築の金堂や五重塔に感嘆、祈るといい夢に変えてくれるという夢違観音、優美な姿の百済観音、玉虫厨子などの国宝に見とれました。法隆寺を後にしてバスで一路、京都へ。夕方六時、京都情緒あふれる「花かんざし」に到着。夜は、京都情緒あふれる部屋でみんなのんびり過ごしました。



学して  
います  
た。宿舎には定刻までにほとんどの班が到着しました。夕食はスキヤキ、おなかいっぱい食べました。そして夜の体験学習は「扇子の絵付け」でした。みんな一生懸命取り組んでいました。作品は文化祭に展示します。

○三日目  
最終日。六時十五分の起床まで全員ぐっすり。八時半、班ごとにタクシー行動です。一時四十五分の京都駅集合まで、それぞれの班が立てた計画で、タクシートの運転手さんの丁寧な説明を受けて、古都・京都のすばらしさを体験しました。全班遅れることなく京都駅に集合。一路、東京へ。日本の伝

修学旅行の事前指導で毎回紹介する言葉があります。それは哲学者・三木清の言葉です。「旅に出ると賢い人はますます賢くなって、愚かな人はますます愚かになって帰ってくる」(人生 ート)と。五感をしっかりとらせて感動を体験してほしいと話しました。

一日目の薬師寺で、いお坊さんの説法をお聞きしました。学校が北区の王子にあると聞いて、自分は十条出身だ、なつかしいな、という話でスタートしました。聴いている人を ぎだむ楽しい話 の中にお坊さんの願いが込められていました。「今、みんながここにいるのは『限定』なのです。奈良にあるお寺を写真で見ることが出来る。けれど、今ここにいて、はみなさんと話している、この時、この 気、それは今でしか体験できないのです。今だからできること、今しかできないこと、それをしっかりと理解して。今という時、を大切にしてください。生徒は真に話を聞き、その思いを

しっかりと受け めてほしいと思いました。宿した宿舎は「花かんざし」という、京都ののほ 真ん中にある、京都のの まいを 現した旅で、 るところに京都情緒あふれる造りや が かれていました。一 感心したのは、 さんや 業 員の方の がとても丁寧で 気が 良く、 今まで修学旅行だからといって、 ースがあれ と思うこともなかった ではありませんが、今回の宿舎はとも らしいと感じました。生徒 も 気 ちよく過ごしたことに 思います。 イ さんやタクシートの運転手さんなど 山の京都の方々と れあい、旅のらしさと楽しさを体感したことでした。

今回の修学旅行もたくさんのお出合いと感動を体験し、生徒たちは なたを 過ごしました。修学旅行の思い出は、人生の中でもきつと宝 のような思い出となるでしょう。心を さぶるような体験は「かな心」を育みます。これからも王子桜中の教育活動の中で、感動体験を 験させていきたいと考えています。

校長

統文化を体験し、楽しかった修学旅行でした。

